

～応募者のみなさんへ～

- 本事業は、みなさんが在籍している**学校が応募の手続き**をします。
応募を希望する場合は、まず学校の先生に相談しましょう。



- 留学計画書は、**応募者本人(みなさん)が作成**する必要があります。先生と募集要項をよく読み、相談しながら作成しましょう。



- **奨学金・留学準備金の金額は、留学計画書の内容に基づいて決定します。**
留学計画書は、**募集要項や本留学計画書の記入例・注意事項**をよく確認し、熟慮の上で作成してください。
※採用後、留学計画の変更内容によっては減額になります。増額はしません。

【注意事項】

- ①留学計画書は、日本語で作成してください。氏名等の旧字体は常用漢字に置き換えて記入してください。
- ②年齢や在籍高校等の情報は、**2026年4月1日時点の情報**を記入してください。

ファイル名は「学校コード_様式1_氏名」としてください。
(例) 「00000A_様式1_京都葵」

事務局記載欄（入力不要）

応募番号

のセル**すべてに入力が必要**です。
のセルは任意回答です。

行幅、列幅、フォントサイズ等、変更しないでください。

(様式1)

官民協働海外留学支援制度～トビタテ！留学JAPAN新・日本代表プログラム【拠点形成支援事業】～
京の高校生「海外探Q留学」応援事業 2026年度（第11期） 留学計画書

応募日程	第一日程
応募コース	京の高校生探究コース
高校生等対象（全国）との併願	併願しない



京の高校生探究コース	
	①文化・歴史・観光
✓	②環境・自然
	③産業・メディア
	④健康・安全
✓	⑤未来・挑戦
※京の高校生探究コース選択者のみ↑ 該当するものにチェック（複数選択可）	

1 応募者情報

1-1 氏名・生年月日等

フリガナ

氏名（漢字）

氏名（ローマ字）

生年月日（西暦）

性別

電話番号

e-mail

学年（2026年4月時点）

居住都道府県

キョウト

京都

KYOTO

2009年12月20日

男

090-1234-5678

tobitate1234@tobitate.ne.jp

2年

京都府

アオイ

葵

AOI

20日

↓ハイフンで区切って記載

半角「-（ハイフン）」で区切って記入してください。

在籍高校担当者が記入してください。

「京都府」のように記載

在籍高校等担当者入力欄（応募生徒は学校担当者に判定を依頼してください。）

家計基準判定結果(高校第11期応募用)

家計基準判定結果(京都府応募用)

家計基準内

採用優先基準内

写真

0

1-2 在籍高等学校等（2026年4月に在籍する高等学校等）

↓「京都府」のように記載

学校コード

00000A

設立形態

公立

都道府県

京都府

学校名

京都府立鴨川高等学校

←略せずに正式名称を記入

学科・コース

普通科

学校の種別

全日制

在籍高校等担当者入力欄

学校担当者名

電話番号

e-mail

在籍高校担当者が記入してください。

「学校コード」「学校名」を学校の先生に確認してください。
「学校名」は、略せずに正式名称を記入してください。
「学科・コース」が分からない場合は先生に確認してください。



学校コードへのリンク
(大学入試センター)

1-3 語学力〔任意〕

英語

TOEIC

点

TOEFL

点

その他の語学能力試験、資格等の点数・結果等英語能力を測れる内容を記入してください。（200字以内）

その他言語

語学能力試験の点数やその他の資格結果、語学能力を測れる内容を記入してください。（200字以内）

0

0

1-4 過去の海外経験〔任意〕

海外経験の有無 「有」の場合、過去の海外での生活、留学などの海外経験について記入してください。（200字以内）

有

※海外への家族旅行や修学旅行ではなく、実際に海外で生活した経験や、学校が主催する海外研修・海外語学研修等の参加経験を記載してください。

67

要件確認欄

左欄にチェックマークを記入してください。

1－5 派遣留学生の要件に関する確認事項

<input checked="" type="checkbox"/>	確認事項
✓	日本国籍を有する、又は応募時までに日本への永住が許可されている。
✓	在籍する高校等において、卒業を目的とした課程に在籍し、留学後も京都府の高校等において学業を継続する、または卒業を目指す。 ※新高校1年生は2026年4月から在籍予定
✓	在籍高校等が派遣を許可し、受入先機関が受入れを許可することが見込まれる。
✓	機構が主催する事前・事後研修、本協議会が主催する事前・事後オリエンテーション、壮行会、報告会、機構が主催する派遣留学生ネットワークに参加する意思を表明している。
✓	留学に必要な査証の取得が確実である。
✓	2026年4月1日時点の年齢が30歳以下である。
✓	留学中に行うインターンシップ等の報酬や他団体等から留学のための奨学金を受けることが決まっている場合は、その総額が、本事業による奨学金の総額を超えない。 （「本事業による奨学金」には留学準備金は含まない）
✓	文部科学省が実施する「初等中等教育段階からの国際交流促進事業（国費高校生留学促進事業）」での支援金を受けていない。
✓	過去に本事業、「官民協働海外留学支援制度～トビタテ！留学JAPAN新・日本代表プログラム～」（【高校生等対象】及び【拠点形成支援事業】）又は「官民協働海外留学支援制度～トビタテ！留学JAPAN日本代表プログラム～」（以下「旧制度」という）の派遣留学生として採用されていない。 ※但し、採用された後、本人の責によらず留学開始前に辞退した者は要件を満たすものとみなす。
✓	生計維持者（原則父母の2名。1名となる場合については、本事業の第11期募集要項「7. 要件（1）派遣留学生の要件」参照）の課税証明書（自治体によっては「所得証明書」）及び課税証明書内訳等確認書（様式5）を在籍する高校等へ提出し、家計基準の判定を依頼する。 ※保護者の方に書類の準備をお願いしましょう。書類を準備できたら、学校の先生に判定をお願いしましょう。

すべてにチェックがつけられない場合は応募できません。

1－6 留学計画の要件に関する確認事項

<input checked="" type="checkbox"/>	確認事項
✓	留学先国・地域における留学期間が2026年7月10日（金）から2027年1月15日（金）までの間である計画である。 ※留学開始日：1か所目の受入先機関の活動開始日 ※留学終了日：最後の受入先機関の活動終了日
✓	留学先国・地域における留学期間が14日以上93日以内で、留学終了後、10日以内に帰国する計画である。
✓	在籍する高校等が、教育上有益な学修活動と認める計画である。 ※学校の先生に必ず相談しましょう。
✓	受入先機関があり、留学の目的に沿った探究活動を含む計画である。
✓	受入先機関から受入許可を留学開始前までに得ることができる計画である。
✓	「アンバサダー活動」「エバンジェリスト活動」を含む計画である。
✓	受入先機関の所在地が、外務省「在外安全情報」に基づく危険情報及び感染症危険情報の「レベル3」以上の地域ではない。

～確認しましょう！～

本事業の第11期募集要項「7.(2)留学計画の要件」
留学計画の要件」

すべて

1－7 安全管理に関する確認事項

✓	海外旅行保険の加入準備を進めている。（無保険での海外留学は本協議会で認めていません。）
---	---

チェックがつけられない場合は応募できません。_____

2 留学計画

2－1 応募理由

京の高校生「海外探Q留学」応援事業に応募した理由を記入してください。〔500字以内〕

数ある留学支援のプログラムの中でも、「自分の留学は京の高校生「海外探Q留学」応援事業でなければ実現できない」という理由を書きましょう。

67

2－2 留学計画の概要

（1）留学計画のタイトル〔40字以内〕

留学計画全体のテーマを簡潔に分かりやすく書きましょう。探究活動「問い」とは異なります。

43

（2）留学計画のキーワード〔各10字以上20字以内〕

①	
②	
③	

自身の探究テーマ、留学内容に応じて、自分の留学の特徴となるキーワードを3つ挙げましょう。3つが似ていても問題ありません。
例：IT企業でのインターンシップ、ジェンダーフリートイレの普及、オペラを通じた文化の調査

（３）留学計画の概要を簡潔に説明してください。〔250字以内〕

どんな留学なのかを、自分のことを知らない人に１分間でわかりやすく伝えることをイメージして書きましょ
う。

51

（４）留学の実現のための具体的な取組を記入してください。
（受入先機関との交渉状況や具体的に思考していること）〔250字以内〕

0

2－3 留学先

留学計画の作成にあたっては、募集要項「7（2）留学計画の要件」を満たしていることを確認してくださ
い。留学計画の要件を満たさない計画は支援の対象外となりますので、注意してください。

■留学期間

①留学開始日 （1か所目の 受入先機関の 活動開始日）	西暦	2026	年	7	月	20	日
②留学終了日 （最後の受入 先機関の活動 終了日）	西暦	2026	年	8	月	14	日
③留学期間（日数）		22					

①留学開始日：1か所目の受入先機関の活動開始日を入力してください。渡航日ではありません。

②留学終了日：受入先機関の活動終了日を入力してください。

③留学日数：1か所目の受入先機関の活動日数を入力してください。複数の受入先機関がある場合は、その日数を合計してください。

※日数は初日も含めて計算してください。
※受入先機関が複数あり、活動を行わない日がある場合は、その日数を除いてください。
(例)留学期間全体:7/20-8/14(22日間)
・1か所目:7/20-7/31(12日間) ※8/1、8/2は活動なし。
・2か所目:8/3-8/7(5日間) ※8/8、8/9は移動日等、活動なし。
・3か所目:8/10-8/14(5日間)
⇒留学期間(日数)は、8/1、8/2、8/8、8/9の4日間を除いた22日間

具体的な受入先機関が決まっていない場合も、できる限りの情報を記入してください。
例) 現地の語学学校、現地の高校、現地のIT企業 など

■ 1 か所目（必須）

①国・地域コード	735	②国・地域	スウェーデン				
③都市名		ストックホルム					
④受入先機関の種別	02_大学・研究機関		その他の場合	()			
⑤受入先機関名	英語表記	●● University School of Music					
	日本語表記	●● 音楽大学					
⑥活動開始日	西暦	2026	年	7	月	20	日
⑦活動終了日	西暦	2026	年	7	月	31	日
⑧活動日数		12	日間	←間に活動を行わない日がある時は、その日数を除いて入力			
①国・地域コード：募集要項「別紙：国・地域コード表」に記載の番号です							
②国・地域名：募集要項「別紙：国・地域コード表」に記載							
③受入先機の種別：近しいと考える種別を選択してください。選択し、詳細を記入してください。							
⑥活動開始日：受入先機関での活動開始日を記入してください。渡航日ではありません。							
⑦活動終了日：受入先機関での活動終了日を記入してください。帰国日ではありません。							
⑧活動日数：⑥から⑦の日数を記入してください。							

日数は初日も含めて計算してください。

■ 2 か所目（該当者のみ） ※第2希望ではありません※

①国・地域コード	735	②国・地域名	スウェーデン				
③都市名		ストックホルム					
④受入先機関の種別	08_民間企業		その他の場合	()			
⑤受入先機関名	英語表記	●● Inc.					
	日本語表記	●● 株式会社					
⑥活動開始日	西暦	2026	年	8	月	3	日
⑦活動終了日	西暦	2026	年	8	月	7	日
⑧活動日数		5	日間	←間に活動を行わない日がある時は、その日数を除いて入力			

■ 3 か所目（該当者のみ） ※第3希望ではありません※

①国・地域コード	703	②国・地域名	エストニア				
③都市名		タリン					
④受入先機関の種別	01_語学学校		その他の場合	()			
⑤受入先機関名	英語表記	●● English School					
	日本語表記	●● 語学学校					
⑥活動開始日	西暦	2026	年	8	月	10	日
⑦活動終了日	西暦	2026	年	8	月	14	日
⑧活動日数		5	日間	←間に活動を行わない日がある時は、その日数を除いて入力			

2-4 留学エージェント等の利用

留学エージェント等の利用の有無	有	
利用目的（複数選択可）	✓	航空券やビザ申請の手続代行
		滞在先の斡旋・仲介
	✓	受入先機関の斡旋・仲介
		留学プログラムの利用
利用予定の留学エージェント等の名称	藪ノ内グローバルトラベル	
留学エージェント等のHPのURL	https://.....	
参加予定プログラム名称	留学プログラムを利用する場合は記入してください。	

【留学エージェント等】
留学手続き代行・留学先あっせん・滞在中のサポートなどを行う業者・団体。
留学エージェント等を左記の利用目的に限って起用する場合、その所在地に関わらず受入先機関として認められません。

※留学エージェント利用の有無は本事業の可否に影響しません。

2-5 他の奨学金等の受給の有無

(1) 本事業以外の奨学金受給の有無

なし	✓	申請中	申請予定
----	---	-----	------

(2) 奨学金名・金額（※（1）で「申請中」または「申請予定」を選んだ場合は、記入してください。）

奨学金名	XXXXXX海外留学奨学金	受給（予定）金額	100,000 円
------	---------------	----------	-----------

3 探究活動

(1) 留学中に行う探究活動の「問い」（65字以内）

※「問い」は疑問形で設定してください。

記入例はSTEAM探究コースの探究活動の例ですが、書き方の参考にしてください。

日本でAI音楽が社会に広く受け入れられるにはどういった取り組みが必要か？
例）「○○と▲▲はどのように異なるのか？」「◇◇に必要な取り組みは

留学計画のテーマとは異なります。

(2) 「問い」の設定理由や経緯（350字以内）

私は楽器を弾いたり、時代を問わず様々なジャンルの音楽を聴いたりすることが好きで、音楽に触れて感情が動いた経験が多々ある。他方で、プログラミングの授業をきっかけに音楽生成AIに関心を持ち自身でも創作活動をしているが、周囲の友人や家族にはAI音楽の完成度は認めるものの、否定的な意見の者もいた。日本では特定の音声合成技術が一つのコンテンツとして世界中に広まっている一方で、AI音楽が広く受け入れられているとは言い難いと感じた。IT技術を駆使した日本の音楽が広く世界にも受け入れられることを最終的な目標としながら、まずは海外での事例や音楽業界での取り組み、IT先進国の大衆の意識にどういった違いがあるのかと疑問に思い、問いを設定した。

(3) 関連する分野（3つまで）

①	28情報工学・コンピューター
②	67音楽
③	72人間科学

シート「留学計画の分野一覧」から、近いと考える分野を3つまで選択してください。

（４）留学中の活動内容

①スケジュール（概要）〔400字以内〕

現時点で想定している留学中の活動スケジュールを簡潔に記載してください。

留学期間（活動期間）：7月20日～8月14日
7月20日～7月31日：スウェーデンの●●音楽大学のサマーキャンプに参加する。この期間中の午後の空き時間にイノベーションセンターを訪問する。
8月3日～8月7日：●●社でインターンを行う。
8月10日～8月14日：エストニアで語学学校に通いながら午後の空き時間にIT企業を訪問する。

164

②活動内容詳細（情報収集・整理・分析の方法など）〔850字以内〕

「問い」に対して、留学中にどのような活動を行う予定か、具体的に記入してください。

現地の音楽大学のサマーキャンプに参加し、音楽手法を学びながら生成音楽AIを活用した作曲に必要なスキルを調査する。また、将来音楽制作にかかわることを目指す参加者に対してAI音楽に関するアンケートを行う。アンケート項目として現在想定していることは次のとおり。

- ・「XXXXXXXXX・・・・・・」
- ・「XXXXXXXXX・・・・・・」
- ・「XXXXXXXXX・・・・・・」

イノベーションセンターは、人、アイデア、知識、創造性を交差させる出会いの場であり、その多くは近隣の大学と地域の行政、あるいはグローバル企業とIT企業の架け橋として機能している。そこにいる人たちの話を聞き、AIの未来と音楽の可能性や、AIの使用者側として大切なことなどについてインタビューをする。

音楽ストリーミングの先駆的存在であり、デジタル音楽分野において最先端の研究が行われている●●社でインターンを行い、どのように発展してきたか、また今後の音楽業界の展望についてインタビュー調査を行う。

ICT先進国であるエストニアのIT企業を訪問し、IT技術がエストニアでどのように発展し、広く社会に普及したのか、今後のIT技術と人間の共存について関係者の話を聞く。

さらに、音楽を聴く大衆側の意識を調べるため、ホームステイ先をはじめとして地域の住民や、語学学校の生徒に対して自身が作曲したAI音楽を視聴してもらいアンケートを行う。アンケート項目として現在想定していることは次のとおり。

- ・「XXXXXXXXX・・・・・・」
- ・「XXXXXXXXX・・・・・・」
- ・「XXXXXXXXX・・・・・・」

685

（５）留学前の活動（国内での情報収集や先行研究の調査、検証、仮説の設定など）
探究活動の実施に向けて、留学前に取り組むことについて記入してください。〔450字以内〕

現在の日本のAI音楽の技術レベルや活用状況について調べる。また、海外におけるAIを導入した音楽制作の成功事例とその影響について調べる。
自分の身の周りにいる人や音楽制作を行っている人に対してAI音楽に関するアンケートを行う。現在想定している項目のうち、主なものは以下のとおり。
・「XXXXXXXXX・・・・・・」
・「XXXXXXXXX・・・・・・」
・「XXXXXXXXX・・・・・・」
日本でのAI音楽の普及にあたり存在する課題が何か、音楽制作者側・ビジネスモデル・大衆の意識・IT技術・法整備といった様々な側面から仮説を立て、対応策を検討しておく。現時点で想定される仮説は、X X X X X X X X X X・・・・・・。

307

（６）留学後の活動（プレゼンテーションや小論文、問いの解決策として想定される活動など）
〔450字以内〕
※探究活動の成果のまとめとして、留学後に取り組む予定の活動について記入してください。

A I 音楽に対するアンケート結果について日本と留学先国の比較・分析を行い、仮説に対する検証結果をプレゼンテーションにまとめる。学校で留学の成果報告として発表する。その際、留学での経験を生かして自身がA I を用いて作曲した楽曲も披露し、発表後は参加者に対してA I 音楽に対するアンケートを取り、自身の探究活動結果がA I 音楽に対する印象にどのような影響をもたらしたのか調査したい。
また、日本のA I 音楽の発展に何が必要か、留学中の探究活動や体験したことを踏まえて洗い出し、それに向けて自分に何ができるか考え、音楽活動を通して発信していく。

264

4 アンバサダー活動

留学中に行うアンバサダー活動について記入してください。〔400字以内〕

留学中に日本や京都府の良さを発信する「アンバサダー活動」に取り組んでもらいます。
日本のファンを海外で増やすために、留学中に何ができるのか、また、なぜその活動を行いたいのか、あなたのアイデアやプランを具体的に（いつ・どこで・誰に対して・何を・どのように）記入してください。
（例）
・ホームステイ先で、地元の郷土料理である〇〇を作って振る舞う。
・日本に関する質問を集めてプレゼンテーションを行い、日本文化を理解してもらう
・ホームステイ先や学校のクラスメイトの好きな言葉を日本語に訳し、筆ペンで書いたものをプレゼントする。

262

※第二日程の応募者は350字以内

5 エヴァンジェリスト活動

留学中・帰国後に行うエヴァンジェリスト活動について記入してください。〔400字以内〕

留学中・帰国後に留学の魅力や留学で得た体験を周りに伝える「エヴァンジェリスト活動」に取り組んでもらいます。自分の学校から留学にチャレンジする人が、毎年必ずいる状況を作るために何ができるのか、また、なぜその活動を行いたいのか、あなたのアイデアやプランを具体的に（いつ・どこで・誰に対して・何を・どのように）記入してください。
（例）
・留学して体験したこと、トビタテ留学JAPANの活動などについて、レポートやパワーポイントにまとめて学校で発表する。
・学校外で留学体験を広めるために、地元の中学校や児童館で発表する。
・留学準備から留学中そして、その後の活動を、SNSを使って発信していく。

295

※第二日程の応募者は350字以内

6 自由記述

6－1 過去の経験

今まで学校の内外で、困難を克服した経験やチャレンジしたことを取り上げ、その内容とそれを通して学んだことについて具体的に記入してください。〔450字以内〕

※第二日程の応募者は400字以内

0

6－2 留学後の自分

（１）現時点で想定している高校等卒業後の進路をできるだけ具体的に記入してください。〔150字以内〕

0

（２）10年後の自分の将来をイメージして、現時点で描いている夢を記入してください。〔250字以内〕

0

（３）国境を越えた探究活動を通じて得た学びを、社会にどのように還元しようと考えていますか。現時点の考えを記入してください。〔300字以内〕

0

6－3 自己PR

A4サイズ1枚で、あなたのアピールポイントを表現してください。文章、イラスト、写真など、表現方法は自由です。※必ずA4サイズ1枚に収まるように作成し、PDFファイルを添付してください。※PDFファイル名：「学校コード_自己PR_氏名」（例）「00000A_自己PR_京都葵」